

# 【概略】

## 平成28年度 西会津町財務状況把握の結果概要について

### 総合評価

**債務償還能力**〔地方債等の債務の大きさとその償還原資を獲得する能力〕

問題なし

実質債務月収倍率（②）が低いことから、債務の水準に**問題はない**。  
また、行政経常収支率（④）が高いことから、償還原資の水準に**問題はない**。

**資金繰り状況**〔経常的な収支と積立金等の備えからみた資金余裕状況〕

問題なし

行政経常収支率（④）が高いことから、経常的な収支の余裕度の水準に**問題はない**。  
また、積立金等月収倍率（③）が高いことから、資金繰り余力の水準に**問題はない**。

### 財務指標

指標	①債務償還可能年数 〔 $\frac{\text{実質債務}}{\text{行政経常収支}}$ 〕	②実質債務月収倍率 〔 $\frac{\text{実質債務}}{\text{行政経常収入} \div 12}$ 〕	③積立金等月収倍率 〔 $\frac{\text{積立金等}}{\text{行政経常収入} \div 12}$ 〕	④行政経常収支率 〔 $\frac{\text{行政経常収支}}{\text{行政経常収入}}$ 〕
問題なし	7.3年	14.2月	5.0月	16.2%
やや注意		18月	3月	10%
注意	15年	24月	1月	0%

問題なし

（債務系統）

債務償還能力

問題なし

（収支系統）

問題なし

（積立系統）

資金繰り状況

### 今後の見通し

今後の見通しについては、ヒアリング等の結果を記載しています。

- 行政経常収入は、人口減少による地方税及び地方交付税の減少により、減少する見通しである。  
また、行政経常支出は、退職者数の増加に伴い平均年齢が低下することによる人件費の減少のほか、一部事務組合に対する負担金等補助費の減少により、減少する見通しである。
- 地方債現在高は、西会津小学校プール整備事業（平成28～30年度）、防災行政無線デジタル化整備事業（平成29～32年度）を予定しているものの、平成29年度をピークに地方債発行額の減少を見込んでいることから、減少する見通しである。
- 積立金等残高は、役場庁舎移転整備等事業の財源として、その他特定目的基金の多くを占める庁舎整備基金を取崩す予定であるものの、安定した財政運営に向けて財政調整基金への継続的な積立てを行うことから、現在の水準を維持する見通しである。